製品安全データシート

１．製品等及び会社情報

１．１ 製品の特定

製品名：　ローヤルアロー　鉄粉除去剤

製品分類：　自動車ボディ＆ホイール用鉄粉除去剤

１．２ 供給者情報

会社名：　株式会社ユーエスシー
住所：　〒183－0044　東京都府中市日鋼町１番１　ヒューリック府中タワー12 階
担当部門：　営業Ｉ部
電話番号：　０４２－３５１－００１１　　ＦＡＸ番号：　０４２－３５１－００１０
ＵＲＬ：　http://www.usccom.co.jp
用途：　自動車ボディ＆ホイール用鉄粉除去剤
使用上の注意：　上記用途以外には使用しないでください。
酸性のホイールクリーナー液などと混合しないでください。
作成・改訂：　平成 20 年 7 月 10 日　（作成）／令和 06 年 5 月 07 日（改訂）

２．危険有害性の要約

ＧＨＳ分類

物理化学的危険性	爆発物	分類対象外
	可燃性ガス	分類対象外
	エアゾール	分類対象外
	酸化性ガス	分類対象外
	高圧ガス	分類対象外
	引火性液体	区分外
	可燃性ガス	分類対象外
	可燃性固体	分類対象外
	自己反応性化学品	分類対象外
	自然発火性ガス	分類対象外
	自然発火性液体	区分外
	自然発火性固体	区分外
	自己発熱性化学品	区分外
	水反応可燃性化学品	区分外
	酸化性液体	区分外
	酸化性固体	区分外
	有機過酸化物	区分外
	金属腐食性化学品	分類できない
	鈍性化爆発物	分類対象外
健康に対する有害性	急性毒性（経口）	分類できない
	急性毒性(経皮)	分類できない
	急性毒性（吸入：ガス）	分類対象外
	急性毒性（吸入：蒸気）	分類対象外
	急性毒性（吸入：粉じん）	分類対象外
	急性毒性（吸入：ミスト）	分類できない
	皮膚腐食性／刺激性	区分２
	眼に対する重篤な損傷／眼刺激性	区分２
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	生殖細胞変異原性	区分外
	発がん性	区分外
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器毒性（単回ばく露）	分類できない
	特定標的臓器毒性（反復ばく露）	分類できない
	誤えん有害性	分類できない
環境に対する有害性	水生環境有害性　短期（急性）	分類できない
	水生環境有害性　長期（慢性）	分類できない
	オゾン層への有害性	分類できない

絵表示又はシンボル：

注意喚起語：　警告

危険有害性情報：
・皮膚刺激（H315、皮膚腐食性／刺激性 区分2）
・強い眼刺激（H319、眼に対する重篤な損傷／眼刺激性 区分2）

注意書き：

【一般】
・医学的な助言が必要なときには、製品容器やラベルを持っていくこと。(P101)
・子供の手の届かないところに置くこと。(P102)
・使用前にラベルをよく読むこと。(P103)

【安全対策】
・取扱い後は手をよく洗うこと。(P264)
・保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。(P280)

【応急措置】
・皮膚に付着した場合：多量の水と石けん（鹸）で洗うこと（P302＋P352）
・眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305＋P351＋P338)
・皮膚刺激が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。(P332＋P313)
・眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。(P337＋P313)
・汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。(P362＋P364)

【保管】
なし

【廃棄】
なし

3．組成・成分情報

化学物質・混合物の区別：　混合物

含有成分及び含有量

化学名／一般名	含有量 mass%	ＣＡＳ№	化審法№	備考
チオグリコール酸アンモニウム	5.0～15.0	5421-46-5	1-311,2-1355	
界面活性剤	1.0%以下	登録済み・非開示	登録済み・非開示	
キレート剤	1.0%以下	登録済み・非開示	登録済み・非開示	
防腐剤	1.0%以下	登録済み・非開示	登録済み・非開示	
水	残部	7732-18-5		
合計	100.0			

4．応急措置

吸入した場合　：　空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
医師の診断、手当てを受けること。

皮膚に付着した場合：　皮膚を直ちに石鹸で洗浄すること。
刺激が生じた場合は、医師の診断を受けること。
汚染された衣服を脱ぎ、再使用する前に洗濯すること。

目に入った場合　：　水で数分間、注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外すこと。その後も洗眼を続けること。
眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合　：　無理に吐かせずに口の中を水で洗って、医師の診断、手当てを受けること。

予想される急性症状及び遅発性症状　：　吸入した場合：咳、めまい、頭痛、吐き気、息切れ。
皮膚に付着した場合：皮膚の乾燥、発赤、かゆみ。
眼に入った場合：発赤、痛みかゆみ眼。
飲み込んだ場合：腹痛、吐き気、嘔吐。
遅発性症状:化学性肺炎

最も重要な兆候及び症状　：　情報なし

応急処置をする者の保護　：　救助者は、状況に応じて適切な保護具（有機溶剤用の防毒マスク）を着用すること。

５．火災時の措置

消火剤　：　小火災：二酸化炭素、粉末消火剤、散水、耐アルコール性泡消火剤
：　大火災：散水、噴霧水、耐アルコール性泡消火剤

使ってはならない消火剤　：　情報無し

特有の危険有害性　：　火災に巻き込まれると、水分が蒸発し引火性可燃物となり、蒸気は空気と爆発性混合気体を形成する恐れがある。
加熱により容器が爆発するおそれがある。
火災によって刺激性、毒性、又は腐食性のガスを発生するおそれがある。

特有の消火方法　：　区域より退散させ、爆発の危険性により遠くから消火する。
作業は風上から行うこと。
初期消火剤で消火の効果がない大きな火災の場合には散水すること。
危険でなければ火災区域から容器を移動する。
移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。
消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。

消火を行う者の保護　：　消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置　：　漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしないこと。
直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離すること。
関係者以外の立入りを禁止すること。
作業者は適切な保護具（８．ばく露防止及び保護措置の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸引を避けること。
適切な防護衣を着けていないときは破損した容器あるいは漏洩物に触れてはいけない。
漏洩しても火災が発生していない場合、密閉性の高い、不浸透性の保護衣を着用すること。
風上に留まること。
低地から離れること。
密閉された場所は換気すること。

環境に対する注意事項：　河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意すること。
環境中に放出してはならない。

回収：　少量の場合はウエス等で拭きとり、その後漏洩区域を大量の水で洗い流す。多量の場合は土砂等で流れを止め出来る限り回収し、残分はウエス等で拭きとり、その後大量の水で洗い流す。

二次災害の防止策：　すべての発火源を速やかに取り除く。（近傍での喫煙、火花や火炎の禁止）
排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

７．取扱い及び保管上の注意

取扱い　技術的対策

ばく露防止対策：取扱いは、換気の良い場所で行うこと。
取扱い場所近くに、緊急時に、洗眼および身体洗浄を行うための設備を設置すること。
漏れ、溢れ、飛散しないようにし、みだりに蒸気を発生させないこと。
発散した蒸気を吸い込まないようにすること。
屋外での作業は、できるだけ風上からすること。
取扱いの都度容器は密栓すること。
保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用すること。
取扱い後は、手、顔等を良く洗いうがいをすること。

火災･爆発の防止：周辺での高温物、スパーク、火気の使用をさけること。

その他の注意事項：容器の転倒、落下、衝撃を加える、又は引きずる等の乱暴な取扱いをしてはならない。
：取り扱う場合は、局所排気内、又は全体換気の設備のある場所で取り扱うこと。

安全取扱い注意事項：炎、火花、若しくは高温体との接触又は過熱を避けるとともに、みだりに蒸気を発生させないこと。

保管　：子供の手の届かないところに施錠して保管すること。
直射日光の当る所、温度が 40℃以上又は 0℃以下の所、水のかかる所、湿気の多い所は避けて保管すること。
容器を密閉して正立で保管すること。
火気、熱源より遠ざけること。火気厳禁
車載保管しないこと。

容器包装材料　：消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

８．ばく露防止及び保護措置

管理濃度　：　設定されていない

許容濃度　：　設定されていない
設備対策　：　取り扱い場所近くに安全シャワー、手洗い、洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。
保 護 具　：
呼吸器の保護具　　：有機溶剤用防毒マスク
手の保護具　　：ゴム手袋
眼の保護具　　：ゴーグル型一眼鏡
皮膚及び身体の保護具　：作業着、ゴム長靴、ゴム前掛け等を使用
衛生対策　：　この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
取扱い後は石鹸でよく手を洗うこと。

９．物理的及び化学的性質

外観・臭気　：　若干黄色～無色の透明な液体で、特有の強い臭気を有する。
ｐＨ　：　6.5～7.5
粘度（25℃）　：　1～10 mPa・s
沸点　：　100℃付近
凝固点　：　0℃付近
揮発性　：　データなし
引火点　：　なし（タグ密閉）
発火点　：　データなし
爆発範囲　：　データなし
可燃性　：　なし
比重（25/4）　：　約1.045
溶解性（水）　：　自由に溶混和する。

１０．安定性及び反応性

安定性　：　通常の取り扱い条件において安定である。
危険有害反応可能性　：　強酸化剤と混触すると激しく反応することがある。
避けるべき条件　：　日光、熱
混触危険物質　：　強酸化剤、水反応可燃性物質
危険有害な分解生成物：　熱分解により、窒素酸化物、硫黄酸化物、一酸化炭素、二酸化炭素ガスを発生する。

１１．有害性情報

急性毒性　：　データなし
皮膚腐食性／刺激性　：　データなし
（チオグリコール酸アンモニウム）ウサギ17.5%（RTECS）皮膚刺激性のデータから区分2
眼に対する重篤な損傷/刺激性　：　データなし
（チオグリコール酸アンモニウム）ウサギ17.5%（RTECS）眼刺激性のデータから区分2
呼吸器感作性又は皮膚感作性：　呼吸器：　データなし
皮膚:　データなし
生殖細胞変異原性：　データなし
発がん性：　データなし
生殖毒性：　データなし
特定標的臓器毒性（単回ばく露）：　データなし
特定標的臓器毒性（反復ばく露）：　データなし
誤えん有害性：　データなし

１２．環境影響情報

水生環境有害性　短期（急性）：データなし
水生環境有害性　長期（慢性）：データなし
オゾン層への有害性　：データなし

１３．廃棄上の注意

内容物や容器を廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務を委託すること。
廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険、有害性を十分告知の上処理を委託する。

１４．輸送上の注意

注意事項：取り扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。
容器漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。

国連分類：該当なし
国内規制：
陸上輸送　：　消防法、労安法等に定められている運送方法に従う。
海上輸送　：　船舶安全法に定められている運送方法に従う。
航空輸送　：　航空法に定められている運送方法に従う。

１５．適用法令

労働安全衛生法　　：　該当なし
消防法　　：　該当なし
毒物及び劇物取締法：　該当なし
ＰＲＴＲ法　　：　該当なし
水質汚濁防止法　　：　有害物質（施行令第二条）　「アンモニウム化合物」
［排水基準］100 mg／L（アンモニア性窒素×0.4、亜硝酸性窒素及び硝酸性窒素の合計量）

１６．その他の情報

主な引用文献

1. 各原料メーカーの MSDS 、SDS
2. 安全衛生情報センターMSDS、SDS
3. JIS Z 7252、7253
4. その他法規

記載内容の取扱い　：　記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合は、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。

[会社情報]

販売者：(株)西京スズキ
所在地：宇部市東須恵2573-1
TEL:0836-41-6485